

公益社団法人日本臨床細胞学会
2018年度第2回理事会議事録

日時：2018年11月17日（土）7:00～9:36

場所：パシフィコ横浜 第6会場

役員総数：41名（理事 38名，監事 3名）

出席総数：理事 35名

（理事）青木 大輔，石井 保吉，板持 広明，伊藤 仁，伊藤 潔，稲山 嘉明，井上 健，植田 政嗣，榎本 隆之，小笠原 利忠，岡本 愛光，小田 瑞恵，加来 恒壽，加藤 久盛，川本 雅司，九島 巳樹，小松 京子，齋藤 豪，佐藤 之俊，生水 真紀夫，竹島 信宏，都築 豊徳，寺本 勝寛，内藤 善哉，長尾 俊孝，中村 直哉，羽場 礼次，廣岡 保明，藤井 多久磨，前田 一郎，三上 芳喜，森井 英一，森谷 卓也，山城 勝重，横山 正俊
（顧問）長村 義之

（監事）佐々木 寛，土屋 眞一

（総務委員会幹事）小倉 豪，星 利良，松浦 基樹，三宅 康之，山下 博，和田 直樹

（制度審議委員会委員陪席）平田 哲士，丸 喜明

（名誉会員陪席）垣花 昌彦，覚道 健一，柏村 正道，亀井 敏昭，小塚 正雄，坂本 穆彦，團野 誠，東岩井 久，平井 康夫，前田 昭太郎

（会計士）中田 ちず子

欠席者：

（理事）池田 徳彦，白石 泰三，八重樫 伸生

（監事）長谷川 壽彦

（総務委員会幹事）藤山 淳三

理事長挨拶・第57回秋期大会会長挨拶

本理事会の開会に際し青木大輔 理事長の挨拶が行われ、続いて、中村直哉 第57回秋期大会会長の挨拶が行われた。第57回秋期大会の事前登録は3900人を超えており盛会が予想される。

副理事長報告

内藤副理事長（学術・編集・国際交流・IAC）、加来副理事長（認定試験・検査士・教育）、植田副理事長（専門医制度）、佐藤副理事長（総括・財務・渉外）から各種業務が適切に進められている旨の報告が行われた。細胞診専門医に関して、今後、専門医機構認定専門医が認められる可能性はあるが、専門医機構のスタンスがサブスペシャルティ学会についてかなり抑制的・限定的なので、当学会は当面、学会認定専門医で運用していく。また、財務について消費税率引き上げに対応していく。

大会開催後報告・大会準備状況報告

第59回春期大会（齋藤豪、ニトリ文化ホール、2018年6月1日（金）～3日（日））に関して大会開催後の報告が行われ（参加人数2939人／演題数439）、第60回春期大会（竹島信宏、京王プラザホテル・

NS イベントホール、2019年6月7日(金)～9日(日))、第58回秋期大会(森谷卓也、ホテルグランヴィア岡山・岡山コンベンションセンター、2019年11月16日(土)～17日(日))、第61回春期大会(佐藤之俊、パシフィコ横浜、2020年6月5日(金)～7日(日))、第59回秋期大会(伊藤仁、パシフィコ横浜、2020年11月21日(土)～22日(日))に関して、それぞれ準備状況の報告が行われた。

前回議事録

前回(2018年度第1回理事会)議事録の確認が行われた。

2018年度総務庶務報告(2018年11月7日現在/物故会員は2017年10月19日～2018年11月7日)

1. 全会員数：12,401名
(正会員 5,573名、準会員 6,607名、名誉会員 41名、功労会員 161名、図書会員 19件)
2. 細胞診専門医および細胞診専門歯科医数：2,850名(実数)
(認定：細胞診専門医 3,500名、細胞診専門歯科医 60名)
3. FIAC：106名 MIAC：30名
4. 細胞検査士数：7,573名(実数)(認定9,879名)
5. CT(IAC)：4,511名
6. 物故会員(2017年10月19日～2018年11月7日)

名誉会員	高見澤 裕吉	殿	(独立行政法人地域医療機能推進機構千葉病院 産婦人科)
功労会員	上野 喜三郎	殿	((株)東京セントラルパソロジーラボラトリー(TCPL) 検査部)
	沓澤 武	殿	(公益社団法人函館市医師会 函館市医師会健診検査センター)
	関場 香	殿	
	武内 久仁生	殿	((財)兵庫県健康財団細胞診センター)
	武内 俊彦	殿	
	塚崎 克己	殿	
	永井 宣隆	殿	(広島女性クリニック)
正会員	宇都宮 裕貴	殿	(東北大学医学部 産婦人科)
	菊地 貴子	殿	(東邦大学医療センター大森病院 産婦人科)
	小島 勝	殿	(獨協医科大学 病理診断学講座)
	定平 吉都	殿	(川崎医科大学 病理学1)
	豊嶋 恵理	殿	(旭川医科大学病院 感染制御部)
	増田 有理	殿	
準会員	小松原 彰	殿	((財)石川県予防医学協会 検査部)
	比嘉 美香	殿	(琉球大学医学部附属病院 病理部)
	前田 新一	殿	(磐田市立総合病院 臨床検査技術科)
	吉永 匡代	殿	

黙禱

総務委員会（委員長 森井 英一）

〔報告事項〕

1. 日本医学会、日本医師会、厚生労働省、内閣府など関連他団体と臨床研究法、医療保険分野におけるAI活用、平成30年度医学生・研修医等をサポートするための会などに関する連携を行い、IAP日本支部病理診断学術奨励賞選考委員会からの外部委員推薦依頼（当学会より桑名市総合医療センターの白石泰三先生を推薦）や検診ガイドライン作成と科学的根拠に基づくがん検診推進のための研究班からの公開シンポジウム参加依頼（当学会より理事が3名参加することを決定）などにも対応した（2018年4月6日～9月7日）。
2. 2019年度理事候補懇談会、2019年度第1回理事会は、2019年4月20日（土）TKP東京八重洲カンファレンスセンターにて行う。
3. 西日本豪雨および北海道地震被災地への義援金協力について連絡があったが、今回は募金を募らないこととした。
4. 会員情報報告（2018年4月21日～2018年11月7日）：新入会106名、逝去9名、退会213名、退会申請中4名、会員種別変更29名
5. 学会事務職員のフレックスタイム制度導入により、時間外勤務時間が大幅に減少した（前年度の約3分の1、10月末現在）。
6. 学会事務局の消防署立入検査で違反指摘されていた「防火管理者未選任」「消防計画未作成」のうち、防火管理者の選任を行い、消防署に届けた。もう一つの指摘事項の消防計画を早急に作成し、日常の火災予防業務や万一の場合に円滑な行動ができるよう定期的に教育、訓練を実施していく。
7. 学会事務局地下2階の火災保険および3階と地下2階の地震保険の見積を二社から取った。現在は、事務局3階のみ火災保険に加入。3階の保険料70,710円、地下2階の保険料見積52,950円、3階・地下2階共通の保険料見積5,000円（3階の保険と地下2階の保険に管理者賠償保険を付帯したもの）である。

〔審議事項〕

1. 細胞診の自己採取について：継続審議中
2. 学会事務局員の福利厚生費（慶弔金見舞金）について：継続審議中
3. 医療広告ガイドライン2018：細胞診専門医の広告にあたり、会員および専門医の氏名の公表が必要で、ホームページに会員氏名を掲載するにあたり、会員個々から掲載可否を得る必要があることについて；会費請求時（毎年2月頃）に諾否の文を同封する（期日までに連絡が無い場合は「諾」とするという一文を必ず添える）ことが提案されたが、継続審議事項として会員情報の公開の方法について再度検討することとなった。地域連携組織に本会会員の個人情報を提供することについても同様の検討を行う。
4. 会費滞納による会員資格停止者の復会について（20名）：承認
5. 自身で退会届を提出した会員から、復帰の希望が出ている件について（1名）：承認
6. 社会保険労務士への業務委託について：30,000円/月×12ヶ月、業務委託することを承認；業務委託期間中に学会事務局員が社会保険労務士からスキルを引き継ぐ予定
7. 会員種別変更に関する内規改正案について：「正会員→準会員」変更希望者について、1月31日までに変更申請が受理された場合、次年度より準会員とする。「準会員→正会員」変更希望者について、4月1日～1月31日までに会員種別変更届が受理された場合、受理された年度から正会員とし、2月1日～3月31日に会員種別変更届が受理された場合、次年度より正会員とする。；承認

8. 学会事務局の地震保険（地下2階・3階）と火災保険（地下2階）の加入について：承認

情報処理委員会（委員長 伊藤 仁）

〔報告事項〕

1. 情報開示の要請、ホームページへの掲載願いの対応を行った。
秋期大会の国際セッション、アジアセッション等について英語版に掲載予定
2. マイページログイン率について
メール登録について全国地域代表者会議（於：札幌）で周知依頼
3. ホームページの改善について
サイト内検索機能の追加（トップページ右上）
バナー広告募集作製、サイドメニューに追加
イエローページをホームページへ移行（メニュータブ「NEWS」の追加：20,790円）
4. バナー広告の申込が2社からあり、1社（アークレイ）を掲載可とした。
5. マイページに専門医更新のための学会出席状況や受講状況が表示されるように改善する。

〔審議事項〕

特になし

学術委員会（委員長 中村 直哉）

〔報告事項〕

1. 最優秀論文賞の応募について
11月頃よりイエローページおよびホームページにて応募要項を掲載予定。応募期間は2019年1月中旬から2月を予定。
2. ICC トラベル грант および特別学術研究費補助公募について
内閣府への事業内容の変更申請手続き進行中。公益認定され次第、公募を行う予定である。

〔審議事項〕

1. 学会賞・技師賞・班研究課題の選考委員会を2018年11月16日（金）にパシフィコ横浜で開催し、応募があった学会賞1名、技師賞（学術部門）5名、技師賞（功労部門）2名、班研究課題6件から、学会賞として 根本則道 氏、技師賞（学術部門）として 大金直樹 氏、技師賞（功労部門）として 田上稔 氏、班研究課題として 樋口加代子 氏をそれぞれ選出し、理事会に提出する候補とした。：いずれも承認を得た。

計理委員会（委員長 岡本 愛光）

〔報告事項〕

1. 2018年度第1回理事会（2018/4/21開催）で2017年度（平成29年度）の決算案、資産管理に関する施行細則案、特定費用準備資金の取扱いに関する施行細則案が可決されたことに伴い、内閣府に変更認定申請書を提出した。特定費用準備資金の積立て（(a)特別公募研究費（学術委員会担当）、(b)各地域連絡組織が行う細胞診の公開講座への補助費用（地域連絡委員会担当）、(c)若手会員に対するIAC国際学会へのトラベル грант（学術委員会担当））については、変更認定申請の要件を満たしていないため、理事会承認を得て変更認定の申請を取下げるとともに、特定費用準備資金の積立てについては、

変更届出の提出で対応するものとする。

2. 第 59 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）について赤字対応を行って決算書類が決まり次第、監査会を行う予定である。年度内には開催を予定している。
3. ヤマト運輸株式会社 送料値上げについて：クロネコ DM 便運賃（税抜）100 円

〔審議事項〕

1. 内閣府へ提出した「変更認定申請」の取下げと、「変更届出」提出について：承認

編集委員会（委員長 竹島 信宏）

〔報告事項〕（2018 年 9 月 26 日時点）

1. 投稿論文

調査対象期間

2014 年投稿論文：113

2015 年投稿論文：75

2016 年投稿論文：79

2017 年投稿論文：55

2018 年投稿論文：41

採用率

2014 年投稿論文：77.0%

2015 年投稿論文：70.7%

2016 年投稿論文：65.8%

2017 年投稿論文：72.7%

2018 年投稿論文：31.7%

2. 株式会社メテオ メディカルオンライン学会誌 57 巻第 3 号・4 号配信作業の完了

3. 2017 年日本臨床細胞学会雑誌第 57 巻第 3 号・4 号の発刊

※雑誌掲載時には、全会員へ一斉メールを送信

4. 日本医学会より「医学雑誌編集と COI 管理にかかるアンケート」の依頼があり、回答した。

5. 投稿数減少対策を行う必要性について指摘があった。

〔審議事項〕

1. 著者に関する変更

①現在の著者数の変更（原著 10 名→12 名／症例 8 名→10 名／短報 5 名→6 名／総説 原則 1 名→原則 1 名）：承認

②「原則として投稿者は共著者を含め日本臨床細胞学会会員に限る。ただし、画像診断、治療などに直接関わった医師（2 名以内）はこの限りでない」という変更：継続審議；会費を納めていない者を著者に含める例外は投稿料が一律の状況では不公平であるという考え方もあり、著者全員について例外なく会員に限定しても良いのではないかという意見あり

細胞診専門医委員会（委員長 齋藤 豪）

〔報告事項〕

1. 資格更新の証明方法変更について

更新のたびに新しい「資格認定証明書」を発行することに関して

- ・メリットとして資格有効期間を明記することに認定期間を意識してもらうことができる。
- ・予算に関して：紙の質で経費が変わるが、臨床研修指導医の資格認定証明書は比較的立派なものであるが予算的には問題ないため、細胞診専門医の資格認定書も同じ材質で問題はないと考えられる。

2. my page とのリンクについて今後どうすべきかについて検討

3. 今後の細胞診断学セミナーのあり方について検討

4. 顕微鏡のレンタル代の増額にともない今後の在り方について検討

5. 2018年8月1日（水）、2018年細胞診専門医資格認定試験実施要項を学会ホームページへ掲載

<http://jscc.or.jp/wp-content/uploads/2018/細胞診専門医資格認定試験実施要項.pdf>

6. 2018年9月16日（日）第2回細胞診専門医委員会（審査会）を実施

①2018年細胞診専門医資格認定試験受験希望者

願書提出 149名

新規 113名（病理専門医 88名、病理専門医以外 25名）

審査済 36名

受験科目内訳

総合科 134名

歯科口腔科 15名

細胞診歴の記入を行っていただく申請者1名を除き、すべての申請者の受験可→後日、要再提出者からも不足部分の提出が行われた

②病欠により前回専門医更新が困難であった細胞診専門医の更新について

2014年更新：保留更新

2018年更新：345単位を満たした場合更新可

※更新者へは必ず345単位を満たすように事務局からご連絡をする

7. 教育研修指導医新規募集をしたところ80名の申請があった。78名は認定され認定証の発送を行った。2名は書類不足の為再度提出を依頼し、後日判断する。

8. 教育研修指導医更新を行った結果は以下の通り。

更新対象者数 263人。更新可 227人（87.0%台）、不備有未完了 18人（6.9%）、未申請 11人（4.2%）、更新辞退 5人（1.9%）

不備有未完了者は更新対象期間中に1度も細胞診専門医セミナーに参加していない為、今回は保留とし、次回までに1回以上受講するよう案内する。

〔審議事項〕

1. 2018年細胞診専門医資格認定試験委員長山下先生より提案された細胞診専門医試験委員の任期延長について：任期は2年とし、毎年半数ずつ交替する → 任期は1年とし、再任を妨げないが、連続4年までとし、委員の推薦にあたっては事業の継続性を考慮することが望ましい；承認

施設認定制度委員会（委員長 長尾 俊孝）

〔報告事項〕

1. 2018年度新規施設認定について

2018年3月31日（土）締め切りとし、申請施設は12施設あった。

審査会を行い、審査の結果、12施設を認定し、認定証を発送した。

新規認定施設：学校法人明経学園北九州細胞検査協会、市立長浜病院、地方独立行政法人神戸市民病院機構神戸市立西神戸医療センター、川崎医科大学総合医療センター、独立行政法人国立病院機構埼玉病院、市立加西病院、J A北海道厚生連旭川厚生病院、社会医療法人誠光会草津総合病院、田川市立病院、医療法人徳洲会宇治徳洲会病院、社会医療法人高清会高井病院、鳥取県立厚生病院

2. 2018年度新規教育研修施設認定について

2018年3月31日（土）締め切りとし、申請施設は11施設あった。

審査会を行い、審査の結果、認定条件を満たしておらず連絡したが無応答の1施設を認定不可、他10施設を認定し、認定証を発送した。

新規認定教育研修施設：宮崎大学医学部附属病院、横須賀共済病院、社会医療法人神鋼記念会神鋼記念病院、松戸市立総合医療センター、苫小牧市立病院、福井総合病院、公立阿伎留医療センター、市立東大阪医療センター、静岡赤十字病院、市立三次中央病院

3. 2017年度施設年報提出状況（2018年9月18日現在）

全849施設中 提出済：805施設（94.8%）、未提出：44施設（5.2%）

4. 2017年度教育研修施設年報提出状況（2018年9月18日現在）

全316施設中 提出済：304施設（96.2%）、未提出：12施設（3.8%）

5. 2017年度認定施設更新状況（2018年9月18日現在）

更新対象認定施設番号：0800-0820、0870-0883、0917-0929

全48施設中 更新可：47施設（97.9%）、未申請：1施設（2.1%）、辞退：0施設

6. 2017年度教育研修施設更新状況（2018年9月18日現在）

更新対象認定施設番号：0045-0167、0191-0309

全238施設中 更新可：200施設（84.0%）、未完了：5施設（2.1%）、未申請：28施設（11.8%）、前回未完了：1施設（0.4%）、辞退：4施設

7. 内部精度管理（実地調査）について

2018年度実施調査は、内部精度管理ワーキンググループ（山城勝重WG長）のもとで4施設（年報未提出施設3、新規認定施設1）を対象として実施（2018年7～9月中）

対象施設：日本私立学校振興・共済事業団東京臨海病院、がん・感染症センター都立駒込病院、(株)四国細胞病理センター、田川市立病院

結果は、全施設「良」であった。

8. 外部精度管理（コントロールサーベイ）について

本年7度目となるコントロールサーベイは、外部精度管理ワーキンググループ（湊宏、小島勝WG長）のもとで2018年7月14日（土）に問題作成委員会を開催。2018年9月中旬に完成問題をDVDとして完成、2018年9月末プレス予定。2018年10月上旬に全認定施設にDVD、解答用紙を発送済。解答提出締切は2018年11月5日（月）消印有効。

解答は集計し、集計結果と症例の解説は2019年3月には学会ホームページにて閲覧可能とする予定。参加施設にはその際、参加証明書を送付予定。なお、2019年春の学術集会にて、WS形式で症例解説を

行う予定。

〔審議事項〕

特になし

細胞検査士委員会（委員長 加藤 久盛）

〔報告事項〕

1. 2018 年度(第 51 回)細胞検査士資格認定試験

志願者総数は 768 名で、このうち 175 名が 1 次試験免除のため 1 次試験の志願者数は 593 名となった。1 次試験は 2018 年 10 月 27 日(土)に CIVI 研修センター新大阪東において実施。2 次試験は 2018 年 12 月 8・9 日(土・日)に東京富士大学において実施する予定。

2. 2018 年度細胞検査士試験問題作成委員会

2018 年 7 月 16 日(月・祝)、2018 年 8 月 19 日(日)、2018 年 9 月 9 日(日)の 3 回にわたり、委員会を開催して筆記試験および細胞像試験の問題を作成した。

3. 2018 年 CT(IAC)資格認定試験

2018 年 8 月 6 日(月)到北京、9 月 22 日(土)にバンコクにおいて実施された。

日本臨床細胞学会からの受験希望者はいなかった。

4. 千葉科学大学危機管理学部保健医療学科からの細胞検査士養成課程申請および畿央大学からの細胞診技術者養成機関申請について(提案者 加藤久盛 細胞検査士委員会委員長):通信理事会において、千葉科学大学危機管理学部保健医療学科からの 4 年制大学での細胞検査士養成課程の申請が承認され、畿央大学からの細胞診技術者養成機関の申請が承認された。これらに伴い、施行細則を変更する。施行細則には学校名を正式名称で載せる。

〔審議事項〕

特になし

細胞検査士資格更新審査委員会（委員長 羽場 礼次）

〔報告事項〕

1. 2017 年細胞検査士資格更新処理状況 (2018/9/11 時点)

2017 年度 細胞検査士資格更新者(グレーカード)

全更新対象者数: 1781 人

更新完了者: 1657 人 (93.0%)

条件付き更新完了者: 27 人 (1.5%)

保留更新(海外在住者): 1 人 (0.1%)

資格失効: 8 人 (0.4%)

更新辞退・退会者: 88 人 (4.9%)

2. 2018 年度細胞検査士資格更新対象者メンバー (ブルー)

0069~0137、0273~0363、0585~0759、1061~1146、1558~1829、2458~2692、3458~3666、4453~4725、5350~5618、6204~6369、6944~7208、7877~8158、8870~9151

更新予定者: 2068 人

※2019 年 2 月~3 月に更新審査予定

〔審議事項〕

特になし

教育委員会（委員長 生水 真紀夫）

〔報告事項〕

1. 2018年度の予定は順調に行われている。

講習会	開催日	開催地・実施委員長
第 127 回細胞検査士養成講習会	2018年7月2日(月) ～14日(土)	東京医学技術専門学校 伊藤 仁
第 43 回細胞診断学セミナー	2018年8月9日(木) ～12日(日)	東京医学技術専門学校 教育委員長
第 75 回細胞検査士教育セミナー	2018年8月25日(土) ～26日(日)	パシフィコ横浜メインホール 加藤 拓
第 76 回細胞検査士教育セミナー	2018年9月8日(土) ～9日(日)	アクロス福岡イベントホール 阿部 英二
第 76 回細胞検査士ワークショップ	2018年7月21日(土) ～22日(日)	日本医科大学 小松 京子
第 77 回細胞検査士ワークショップ	2019年2月16日(土) ～17日(日)	広島大学 小川 勝成

2. 2019年度の予定

講習会	開催日	開催地・実施委員長
第 128 回細胞検査士養成講習会	2019年7月(予定)	東京都：伊藤 仁
第 44 回細胞診断学セミナー	2019年8月8日(木) ～11日(日)(予定)	東京都：教育委員長
第 77 回細胞検査士教育セミナー	2019年8月(予定)	東京都：岸本 浩次
第 78 回細胞検査士教育セミナー	2019年9月(予定)	大阪府：服部 学
第 78 回細胞検査士ワークショップ	2019年7月(予定)	神奈川県：仲村 武
第 79 回細胞検査士ワークショップ	2020年2月又は3月 (予定)	愛知県：今枝 義博

3. 細胞診断学セミナーの改革に関する検討について

本年度の細胞診セミナー受講者にアンケートを予定している（専門医試験実施後）。昨年度実施の受講者アンケート結果と併せて、開催時期、開催期間、開催場所、カリキュラム内容、費用などについて分析を行い、改革案の具体案を検討することを予定している。なお、本年度（第 43 回）細胞診断学セミナーでは、講師にアンケートを実施した。細胞診専門医委員会にも変更案を提示して、カリキュラム内

容などについても意見をお聞きしている。これまでに、研修要綱や実施臨床に沿った時間配分へのシフト、細胞診専門医試験のショートオリエンテーションなどを加える等の提案が挙がっている。2年後をめどに改革案の検討をすすめる予定。

〔審議事項〕

特になし

渉外・広報委員会（委員長 小田 瑞恵）

〔報告事項〕

1. 会員へのメール配信

日本臨床細胞学会誌をホームページへアップした際、全会員へ目次等まとめたものを一斉メールした（2018年6月上旬-雑誌第57巻3号 2018年7月下旬-雑誌第57巻4号）

2. 他学会との共催・協賛・後援に関する要綱と申請用紙が承認されたので、ホームページに掲載し、他学会からの依頼に対応している。

3. 他学会等からの共催・協賛・後援に関する申請

①泌尿器細胞診（別府）カンファレンス主催の第10回「泌尿器細胞診報告様式2015」に沿ったワークショップの後援依頼 → 承認

②泌尿器細胞診（別府）カンファレンス主催の第11回「泌尿器細胞診報告様式2015」に沿ったワークショップの後援依頼 → 承認

③日本HPV研究会より第3回日本HPV研究会学術集会での後援名義使用の申請

渉外広報委員会でメール会議を開催し、名義の使用のみであれば可との結果であった。しかし、この研究会としてのCOIが開示され、きちんと管理されていることが不明な点、日本産科婦人科学会では後援を見合わせたという経緯より、理事長・総務委員長と相談のうえ今回の後援は見送った。

4. 他学会等との会議出席

①医療関連サービス振興会の第71回サービスマーク認定に係る審査調査指導中央委員会に出席（岡幹事代理出席）した。

②日本臨床検査標準協議会 第13期総会に出席した。

③日本がん治療認定医機構 関連学会連絡委員会に出席した。

④医療関連サービス振興会の第72回サービスマーク認定に係る審査調査指導中央委員会に出席した。

⑤日本臨床検査標準協議会より、事務所移転のため定款記載変更のための第14期臨時総会開催（書面会議）が開催された。

〔審議事項〕

1. 子宮の日無料配布冊子「まもること」の作成・印刷（細胞検査士会 伊藤 仁会長よりの提案）に関して、2019年から日本臨床細胞学会が請け負うか否かについて検討し、本会が学会事業として費用を全額負担して現行と同様の冊子を作成することは困難と判断したことについて：協賛金等の協力なら可能かもしれないので、細胞検査士会から新たな提案があれば継続して審議していく（継続審議中）。

社会保険委員会（委員長 稲山 嘉明）

〔報告事項〕

1. 2020年診療報酬改定に向け、今回の改定後の運用実態の概要を把握するとともに、次回要望項目作成の基礎資料とするため、認定施設代表者および会員にアンケートを実施中である(9月上旬から実施。締め切りは10月30日)。
2. アンケート終了後、その集計結果を参考にしながら診療報酬改定にむけた審議を行う。現在、アンケート結果を集計中。

〔審議事項〕

1. 以下の診療報酬改定要望案(概要)を呈示した。

2020年診療報酬改定要望案(2018年11月17日) <順不同、変更あり>

既収載

- ・N006-2 細胞診断料
婦人科細胞診断料の創設
- ・N000-2 セルブロック法によるもの
適用拡大(詳細未定)
- ・N004-1 婦人科液状化検体細胞診加算
増点(36点から)
- ・N003-2 迅速細胞診 2検査中の場合
いわゆるROSEの適応拡大(詳細未定)
- ・N002-5 免疫染色、見直し
塗抹標本、液状化検体細胞診における免疫染色
- ・N006 病理診断管理加算(細胞診)
細胞診断料とのリンクをなくす

未収載

- ・婦人科子宮頸部細胞診自動判定支援加算

12月10日の内保連締切に向けて提出したい(提出後も修正可能);承認

地域連絡委員会(委員長 廣岡 保明)

〔報告事項〕

1. 2017年度都道府県地域連携組織・連合地域連携組織活動報告について、報告書提出の案内を2019年1月より開始予定である。
2. 子宮頸がん検診推進活動(子宮の日)支援について
 - 1) 2018年度の活動支援について
申請件数47件。実施内容を提出した地域学会へ支援を行う。
助成金の交付は、5万円を上限とした。
成果報告書提出および助成金交付件数44件(2018年9月11日現在)。
残る3件については成果報告書の提出待ちである。
 - 2) 2019年の活動支援について

助成金申請書を各都道府県地域連携組織に2019年3月末を提出期限として、案内する予定である。

〔審議事項〕

特になし

国際交流委員会（委員長 森谷 卓也）

〔報告事項〕

1. 2国間交流について

1) 第26回 タイ-日本 細胞診ワークショップの報告（担当：細根委員、片山委員）

（The 26th Thai-Japanese Workshop in Diagnostic Cytopathology）

2019年1月17日（水）～19日（金）にバンコクで開催される予定。

2) カンボジアからの学術集会への定期的な招請：第59回秋期大会（会長 中村直哉）に招請中。

3) 日中交流：

2018年6月15日（金）～17日（日）、中国湖南省長沙の交流事業報告。

2019年の開催に向けての交渉を計画中（担当：唐幹事）。

4) 第17回日韓細胞診合同会議 2018年9月8日（土）釜山は、日本から27名が参加し、終了した。

第18回は2019年9月7日（土）に平昌で開催される予定（担当：佐藤委員）。

2. 国際・アジアフォーラムについて

1) 第59回日本臨床細胞学会総会春期大会（会長 斎藤 豪）

開催日：2018年6月1日（金）～3日（日）

開催地：札幌

国際・アジアフォーラム（Global Asia Forum）

Current Status of Cytology in Asian Countries（5 演題）

担当：細根委員、片山委員

2) 第57回日本臨床細胞学会秋期大会（会長 中村直哉）

開催日：2018年11月17日（土）～18日（日）

開催地：横浜

国際・アジアフォーラム（Global Asia Forum）

担当：田尻委員

3) 第60回日本臨床細胞学会総会春期大会（会長 竹島信宏）

開催日：2019年6月7日（金）～9日（日）

開催地：東京

国際・アジアフォーラム（Global Asia Forum）

担当：小松委員

4) 第58回日本臨床細胞学会秋期大会（会長 森谷卓也）

開催日：2019年11月16日（土）～17日（日）

開催地：岡山

国際・アジアフォーラム（Global Asia Forum）

担当：廣岡委員、覚道先生

3. その他

1) ICC2019 (シドニー) において、JSCC としてコンパニオンミーティングを企画するよう、長村先生を通じ、依頼があった。長村先生、青木理事長とも協議し、国際交流委員会が対応することとし、メンバーにも諮り、演者選定を依頼中。座長の一名は豪州から、日本病理学会総会との重複を避けるために日程を勘案いただくことについても了解を得た。

2) 第 42 回欧州細胞学会より JSCC からのコンパニオンミーティング (2 時間枠)、およびシンポジスト (Diverse Cytopathology in USA, Asia and Asia) 1 名推薦の依頼があった。シンポジストは杉山裕子先生に依頼した。

〔審議事項〕

1. 国際交流寄付金に関する申し合わせ、および寄付金申請書の案について：国際交流寄付金は原則として一事業当たり 30 万円以内とし、使途の概要について報告を受けることとする；承認
2. JSCC-Johns Hopkins Cytopathology Tokyo Course のご提案について；承認

制度審議委員会 (委員長 川本 雅司)

〔報告事項〕

1. 最新の定款、施行細則 (2018 年 4 月 21 日理事会承認版) をホームページに掲載した。
2. 国際交流委員会の『国際交流寄付金に関する申し合わせ』、および『同寄付金申請書』策定に関してアドバイスを実施した。

〔審議事項〕

1. 国際交流委員会の検討事項『国際交流寄付金に関する申し合わせ』、および『寄付金申請書』に関して；承認 (国際交流委員会 審議事項 1 参照)
2. 利益相反委員会の「細胞診断学に関連する医学研究の利益相反に関する指針の施行細則」改訂に関して；承認 (利益相反委員会 審議事項 1 参照)

医療安全委員会 (委員長 藤井 多久磨)

〔報告事項〕

1. 第 57 回日本臨床細胞学会秋期大会において、2018 年 11 月 17 日 (土) 午前 10 時 30 分より、医療安全セミナーを帝京大学医学部附属溝口病院臨床検査科の水口國雄先生が「病理診断・細胞診における精度保証」という演題名で開催予定である。第 60 回春期大会 (会長：竹島信宏先生) においては 2019 年 6 月 8 日 (土曜日) 15 時 20 分より医療安全セミナーを演者は水沼直樹先生 (弁護士) で開催予定である。

〔審議事項〕

特になし

倫理委員会 (委員長 伊藤 潔)

〔報告事項〕

1. 第 57 回 (2018 年) 秋期大会では、倫理委員会指定セミナーとして、明治大学法学部准教授 小西 知世先生による講演を行う。
2. 第 60 回 (2019 年) 春期大会では、倫理委員会指定セミナーを行う予定。

〔審議事項〕

特になし

利益相反委員会（委員長 板持 広明）

〔報告事項〕

1. 日本医学会からの「医学研究に係る利益相反（COI）対応の現状アンケート」に回答した。

〔審議事項〕

1. 細胞診断学に関連する医学研究の利益相反に関する指針の施行細則の改訂について：対象者が従来の JSCC 学術講演会で発表する者、JSCC 学術機関誌に投稿する者、JSCC の理事会・委員会・学会雇用の事務職員・作業部会に出席する者、当学会の役員・委員長・倫理委員・利益相反委員に加えて、学術委員・施設認定制度委員・国際交流委員となる；承認

臨床試験審査委員会（委員長 前田 一郎）

〔報告事項〕

1. 臨床試験審査を随時行っていく。

〔審議事項〕

特になし

IAC 連絡委員会（委員長 長村 義之）

〔報告事項〕

1. 第 20 回国際細胞学会 ICC 2019

シドニーにおいて 2019 年 5 月 5 日（日）～9 日（木）に開催される。JSCC Companion Symposium の他、JSCC から多くの参加が期待されている。

2. 2022 年の第 21 回国際細胞学会の開催場所がケープタウンから変更になった。現在再選定中である。

3. 第 42 回ヨーロッパ細胞学会が Malmö, Sweden で June 16th～19th 2019 に開催される。

Congress President: Dr. Henryk A. Domanski からの招聘により JSCC Companion Symposium が予定されている。

4. IAC companion meeting at USCAP 2019

March 16～21, 2019 National Harbor Maryland

“When Molecular is Cumbersome... Cytomorphology is there “

Moderators: Robert Osamura, MD, PhD, FIAC & Fernando Schmitt, MD, PhD, FIAC

5. IAC-CAP Digital Cytology project

College of American Pathologists (CAP) の保有する婦人科関連の細胞診標本を IAC でデジタル化し教育資材とするプロジェクトが進んでいる。Underserved countries にアクセス可能とする。

6. 2018 年 IAC 資格認定試験の実施について

日程：2019 年 6 月 15 日（土）

場所：AP 浜松町 ※仮予約済み

IAC ホームページに掲載済み

<http://www.cytology-iac.org/home/examination-schedule>

〔審議事項〕

特になし

臨床試験ワーキンググループ（委員長 寺本 勝寛）

〔報告事項〕

1. 「一般住民を対象とした子宮頸がん検診における液状化検体細胞診と HPV DNA 検査との併用法の有用性を評価する前向き無作為化比較研究 (CITRUS study)」(山梨県、千葉県柏市)
 - ① 2018 年度中間報告会を山梨県にて 2018 年 10 月 29 日(月)に開催し、柏市は 2018 年 11 月 26 日(月)に開催した。
 - ② EDC (臨床試験データ登録) システムの改変 (データ読込、検索、印刷機能の追加) を行う。
 - ③ 本研究の実施に際し、中央モニタリングの実施が必要である (委託業務内容に含める)。
2. 「子宮頸がん疑い患者及び検診受診者を対象とした LC-1000 の有用性に関する臨床試験」: 論文投稿を予定している。

〔審議事項〕

1. 「一般住民を対象とした子宮頸がん検診における液状化検体細胞診と HPV DNA 検査との併用法の有用性を評価する前向き無作為化比較研究 (CITRUS study)」の実施について、公益財団法人神戸医療産業都市推進機構への業務委託料及び支払条件の一部を変更し、当学会の次年度予算に組み込む。; 承認

細胞診専門医制度改革推進ワーキンググループ（委員長 植田 政嗣）

〔報告事項〕

特になし

〔審議事項〕

1. e ラーニングシステム構築について: 当学会が設立予定の OpenCEAS 株式会社のシステムを手数料のみで使用。1 単位 4,000 円 (税別) で会員に提供。; 承認

肺がん学会とのワーキンググループ（委員長 渋谷 潔）

〔報告事項〕

1. 中山富雄委員が、2018 年 11 月 29 日 (木) ~12 月 1 日 (土) 開催の第 59 回日本肺癌学会学術総会にて「喀痰細胞診対象者の定義変更に伴う喀痰細胞診の実施状況への影響」として発表予定。

〔審議事項〕

特になし

ゲノム診療時代における細胞診のあり方検討ワーキンググループ（委員長 森井 英一）

〔報告事項〕

1. 2018 年 6 月 1 日にワーキンググループ会議を開催した。
2. ICC シドニーで発表予定。

【発表タイトル】細胞診標本を用いたゲノム解析: 日本での現状とその推進 (ゲノム診療時代における細胞診のあり方検討ワーキンググループ)

〔審議事項〕

特になし

肺癌細胞診の診断判定基準の見直しに関する合同ワーキンググループ（委員長 佐藤 之俊）

〔報告事項〕

1. 新たな判定基準を設定し、実際の細胞診標本を用いたレビューを行っている。その成果を紙上发表する予定である。また、ICC2019 Sydney ならびに ECC2019 Malmö における JSCC とのコンパニオンミーティングにて発表の準備を進める。

〔審議事項〕

特になし

その他の審議事項

1. 2019 年度・2020 年度全国選出理事候補選挙結果について：承認
2. 2019 年度・2020 年度地方選出理事候補選挙日程について：2018 年度第 3 回理事会日時を 2019 年 3 月 23 日（土）10:00～13:00 に変更したうえで承認
3. 第 62 回（2021 年度）春期大会長選出について
大会長選出メンバーは以下のとおり。

理事長 青木大輔

前理事長 佐々木寛

副理事長 加来恒壽、植田政嗣、佐藤之俊、内藤善哉

学術委員会委員長 中村直哉

（役員等選任に関する施行細則第 2 条より）

2 名の立候補があった。協議の結果、生水真紀夫 理事が大会長に選出された。

以上で本理事会の議題が終了し、加来恒壽 副理事長の閉会挨拶をもって本理事会を終了した。

2019 年 2 月 9 日

この議事録が正確であることを証します。

理事長

監事

監事

青木大輔 
佐々木寛 
生水真一 